

一内水研通信一

第19号

平成31年1月

千葉県水産総合研究センター
内水面水産研究所
〒285-0866 佐倉市白井台 1390
TEL 043-461-2288
千葉県農林水産技術会議

魚介類相調査の実施(ハクレンが多数出現！)

内水面水産研究所は、県内主要漁場の1つである印旛沼と手賀沼について張網採捕調査による魚介類組成の変化などを調べています。

これは両沼が都市部に位置するため環境の変化を受けやすいということで印旛沼では昭和50年、手賀沼では昭和51年から行われています。

この調査から、今までに日本にいなかったチャネルキャットフィッシュやコウライギギといった外来魚が出現した時も把握してきました。

平成30年度の年2回の調査のうち、10月に行った調査で、今年生まれと思われる小型のハクレン(全長67~211mm、平均148mm)が印旛沼や手賀沼で多数出現していることを確認しましたので紹介します。



張網



ハクレン

(学名 *Hypophthalmichthys molitrix*)

英名 Silver carp

分布

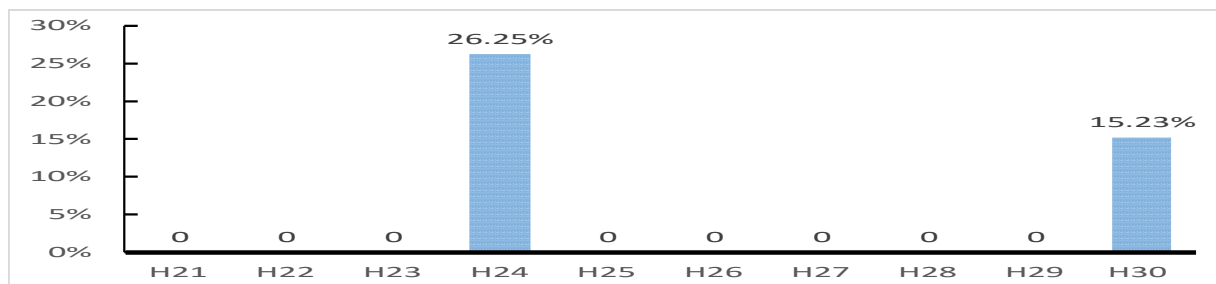
- ・中国原産で、現地では食用魚です。
- ・日本には明治以降、ソウギョなどとともに各地への移殖が試みられました。

形態

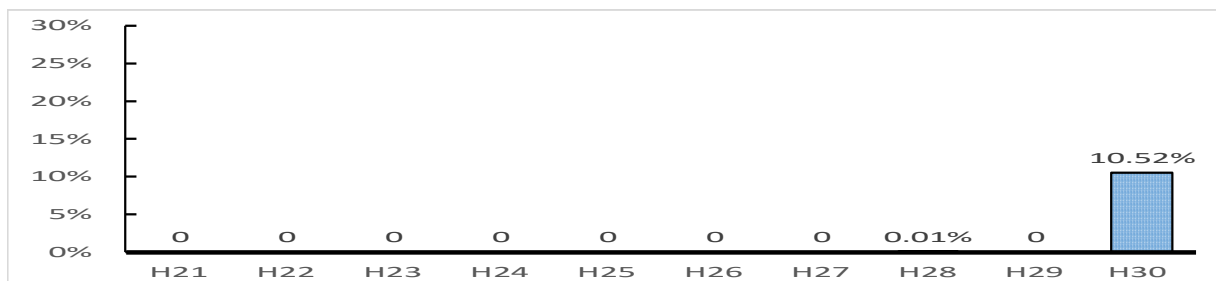
- ・体高は高く平たい魚で、頭は大きいです。
- ・目は小さく体の中央より下に位置しています。
- ・口は体の先端にあり、斜め上を向いていて、口ひげはありません。

生態

- ・水面近くを遊泳していることが多く、時々ジャンプしている姿を見かけます。
- ・主な食べ物は植物プランクトンです。
- ・成長すると最大で全長120cm、体重30kg以上になります。



手賀沼



印旛沼

漁獲物（魚類）に占めるハクレンの割合（重量）

注) H21～H30年の10月で比較

過去10年間は、平成24年度の手賀沼で大型の個体が1尾入った時、割合が高かったですが、通常出現は見られません。しかし今年度は小型の個体が多数見られるようになっていきます。

はっきりした原因は分かりませんが、「元々の産卵数量」、「産卵期の流量」、「卵のふ化した割合」、「ふ化した仔魚の生残」などの影響を受けたことが考えられます。

植物食性のため、ほかの魚を食べたりすることはありませんが、将来大型に成長した場合、漁業等への影響が大きくなることが予想され、今後の調査で引き続き見守る必要があります。

お知らせ ～来庁者の方々へ～

内水面水産研究所では内水面漁業や淡水魚介類の情報を提供するために、内水面の漁具や生きた淡水魚・エビ類を「展示室」にて公開しており、ハクレンも展示しています。

また、水辺環境の保全技術に関する相談や技術指導も受け付けています。

見学及び相談時間は、平日午前9時30分から午後4時になります。

詳しくは、以下のアドレスをご覧ください。



展示室

<https://www.pref.chiba.lg.jp/lab-suisan/suisan/soshiki/naisuimen/kengaku.html>